

2024年5月15日
株式会社SVPジャパン

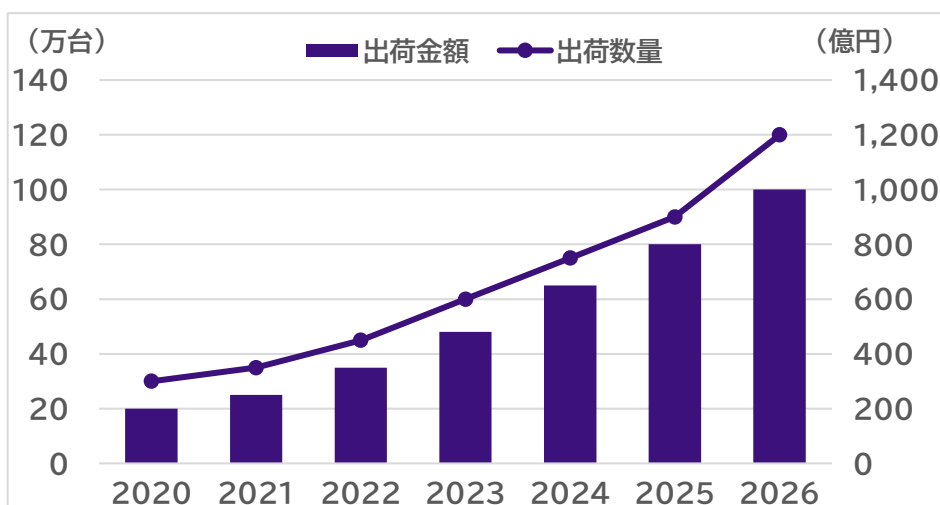
SVP注目市場分析 「AR/VRデバイス」を公開

～米Appleも参入、多様な用途で普及が高まる～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「AR/VRデバイス-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ AR/VRデバイスの国内市場



AR/VRデバイスは、VRゲームやメタバースの利用、また、3D動画の視聴を主用途として、一般消費者向けのHMD※を中心に市場が形成されてきた。2023年は、同市場の代表的な製品である「Meta Quest」、「PlayStation VR」の新製品が発売されたことで市場が拡大した。また、産業用で、技術習得のトレーニングや、仮想空間での設計・デザインなどへの活用が進んでおり、製造業や建設業を中心に徐々に需要が増加している。

2023年のAR/VRデバイスの国内出荷台数は60万台、メーカー出荷金額ベースで480億円の市場規模であったと推定される。種類別にみるとHMDの出荷台数がほとんどを占めているが、今後、市場参入が増加しているスマートグラスのシェアが高まることで、市場の拡大が続くと見込まれる。

※HMD・・・ヘッドマウントディスプレイ

■ AR/VRデバイスの市場概況

AR/VRデバイスの市場は有望市場として期待されてきた一方、市場の拡大ペースが遅く、大手企業の販売終了や事業の縮小などの動きもみられている。しかし、高解像度化や装着感の向上などの技術開発が進展しており、消費者向けのVRコンテンツの増加や、産業用のアプリケーション開発が進むことで、市場の拡大が加速することが期待される。

産業用としては、製造業や建設業における用途の拡大をはじめ、VRショッピング、VR教材、手術ロボットの遠隔操作など、商業、教育、医療をはじめ幅広い分野で活用が進む可能性がある。

また、今後はスマートグラスの製品が増加していることもあり、市場はさらに拡大していくと見込まれる。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



■ 次回のテーマ

6月のテーマは「eスポーツ」と「デジタルサイネージ」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com